

【3-4 クリニカルクエスチョンの設定】

スコープで取り上げた重要臨床課題 (Key Clinical Issue)				
<p>「病期診断」                      悪性胸膜中皮腫の治療方針を決める上で最も重要な病期については、これまでいろいろな検査モダリティが使われてきたが、悪性胸膜中皮腫の特性を考えた検査が必要である。</p>				
CQの構成要素				
P (Patients, Problem, Population)				
性別	指定なし			
年齢	成人(18歳以上)			
疾患・病態	胸膜中皮腫を疑う集団			
地理的要件	医療体制の確立した地域			
その他	特になし			
I (Interventions) / C (Comparisons, Controls) のリスト				
I: a) 胸部造影CT、b) 胸部単純/造影CT+胸部MRI、c) 胸部単純/造影CT+FDG-PET/CT C: a) 胸部単純CT、b) とc) 胸部単純/造影CT				
O (Outcomes) のリスト				
	Outcomeの内容	益か害か	重要度	採用可否
O1	診断率	益	9点	○
O2	安全性	害	6点	×
O3			点	
O4			点	
O5			点	
O6			点	
O7			点	
O8			点	
O9			点	
O10			点	
作成したCQ				
胸膜中皮腫の病期診断に、a) 胸部造影CT、b) 胸部単純/造影CT+胸部MRI、c) 胸部単純/造影CT+FDG-PET/CTは勧められるか？				



